ドラえもんクイズ（上級）解説

1　小問集合

①　ミニドラとのび太は『ドラえもんが重病に？』にて、調子を崩したドラえもんを治すためにドラえもんの体内に入った。マツムシは『ドラえもんの歌』にて、ドラえもんの電子頭脳の中に入り込んだ。そのためドラえもんは異常をきたしてしまい、この話は数ある原作の中でも屈指の狂気回となっている。てんコミには未収録だが大全集には収録されているので、機会があればぜひ一度読むことをお勧めしたい。ネズミは『ドラえもんが重病に？』にてドラえもんの体内に入り込む描写があるが、これはドラえもんの夢であり現実にはネズミは入り込んでいない。

②　(1)は『ゆうれい城へ引っこし』にて登場したミュンヒハウゼン城の城主、ロッテ・ミュンヒハウゼンのセリフ。架空の言語ではなくれっきとしたドイツ語である。「イッヒ（ich)」は「私は」の意味、「ネーメ（nehme)」は「買う」の意味、「ディーゼン（diesen)」は「これら」の意味を持ち、直訳すると「私はこれらを買います」となる。配点については、「私は」が一点、「これらを」が一点、「買います」が二点である。話を理解していて、「これらを」を「城を」にしていても可。大体の意味がとれていれば多少の表記ゆれは可。
(2)は『ドラえもんが重病に？』にてミニドラが発言したセリフ。配点は「すっかり」が一点、「調べて」が一点、「悪いとこ」が一点、「直した」が一点。大体の意味が取れていれば多少の表記ゆれは可。
(3)は『ブリキの迷宮』にてミニドラが発言したセリフ。配点は「しっかり」が二点、「プログラムしてきた」が二点。壊されたドラえもんを修理した際に発したセリフである。さすがにノーヒントではミニドラのセリフであることを判別できないので、発言者を記しておいた。ミニドラのセリフは、言葉の頭文字しかしゃべることができないパターン、「ドララ」としかしゃべることができないパターン、そして「キーキー」としゃべるパターン…といまいちしゃべり方が定まっていない。

③　宿題、本探し、お使いとやることが重なったのび太がひみつ道具に頼ろうとするも、ドラえもんにかわされてしまうシーン。マッド・ウォッチをどこかでおっことしたというのはさすがに嘘であるはずだが、もし本当だとしたら大変なことである。今回の話に登場する「むだ時間とりもどしポンプ」を含めて、時間を操れる系の道具は誰もが一度はほしいと思ったのではないだろうか。

④ のび太の発案でドライ・ライトを売り出すことになり、当初はあまり乗り気ではなかったドラえもんだったが、ドラやきが絡むと態度が一変。独占販売しているのをいいことに、ドライ・ライトの値段をどんどん釣り上げ、その姿にはのび太も引いてしまうほどだった。ドラえもんが欲におぼれる原因となったドラやき食堂のメニューは突っ込みどころ満載である。ちなみに、メニューの一つ「ドラバーガー」は実際に藤子・F・不二雄ミュージアムのカフェで一時期販売されていた。マンガに登場する料理のメニューが載っている料理本にも、ドラバーガーが登場しているらしい。

⑤ VS 正義パトカー
ジャイアンの乱暴を抑え込めるために登場。一度は正義パトカーがジャイアンを退散させるも、小さな悪事さえも見逃さない正義パトカーに対し辟易したのび太は正義パトカーを壊すことを画策。しかし結局逃げる羽目になり、そこに偶然出くわしたジャイアンも電柱にのぼり逃げるが手を滑らし落下。その際に正義パトカーを潰し、ジャイアンはのび太とドラえもんから正義の味方とたたえられるのであった。よってジャイアンの勝利。
VS 税金鳥
みんなが平等になるためにと導入された税金鳥だったが、その徹底した取り立てに周囲からは不満の声が上がり始める。ジャイアンとスネ夫は徴税を免れていたが、ジャイアンがたまたま拾った 10 円に対し税金鳥が税金を取ろうとする。それを不服としたジャイアンが税金鳥と大乱闘を繰り広げ、見事税金鳥を打ち負かし晴れて税金ごっこはおしまいになった。よってジャイアンの勝利。
VS おもちゃの兵隊
のび太を殴ろうと追いかけまわすジャイアンに対してドラえもんが送り込んだ道具。おもちゃだと笑い飛ばしていたジャイアンだったが、あっという間に銃撃を食らい黒こげになって瞬殺された。このあと、スネ夫、しずか、ドラえもんまで黒こげにされ、のび太のママが兵隊に追いかけまわされるシーンでこの話は終わる。おもちゃの兵隊、全く強し。よってジャイアンの敗北。
VS まもり紙
まもり紙は、毎日三回おがめば災難から守ってくれる神ならぬ紙。例のごとく調子に乗ったのび太がジャイアンを挑発し、まもり紙とジャイアンが乱闘。のび太も増援を考えるほどの接戦であった。最終的にジャイアンはボロボロになりながらもまもり紙をばらばらにして撃破。よってジャイアンの勝利。

⑥ 大山ドラ時代の映画（のび太の恐竜～ワンニャン時空伝）までは毎年同時上映された作品があったのだが、わさドラになってからは一度も同時上映は行われてい

ない。ちなみに、のび太の恐竜と同時上映されたのは『モスラ対ゴジラ』。ドラえもんとも藤子作品とも全くかかわりのない作品が同時上映されたのはこれが最初で最後。

2　イラスト問題

①　チッポケット二次元カメラは、人や物を写すと、写したものが写真の中に取り込まれる。写真にお湯をかけると元の状態に戻る。瞬間固定カメラは、写した人や物を写真のように固定することができる。固定したものに向けてシャッターを切ると固定が解除される。ドラえもんの道具にはカメラ系の道具が数多く存在する。見た目だけでそれらを区別するのはなかなか難しい。

②　一問目は、ボロボロなのび太を横目に当時流行したおもちゃであるスライムで遊んでいるドラえもんが印象的なコマ。この後、ドラえもんはのび太の話を聞く前に事の顛末を全て言い当て、コンチュー丹を出した。
二問目は、「心がおもくて立てないらしい」というセリフが入っているコマなので、どのような道具がこれから出てくるか予想がつくと思われる。ムードもりあげ楽団あたりが真っ先に候補としてあがりそうだが、正解はハッピープロムナード。

③　『時差時計』のオチのコマから出題。日本時間のほうがニューデリー時間よりも三時間半早く進んでいる。果たして日本とニューデリーの時差を知っていたからこの問題を解くことができたという人はいるのだろうか…？

3　文章問題

A　『㊙スパイ大作戦』にて、スパイセットで明らかになったスネ夫の性格。ここまで自分に自信を持てるというのもうらやましい。

B　三人用のゲームというのもなかなか珍しい。実際に三人ではないと遊べないゲームは存在するのだろうか…？ゲーム、ボードゲームといった回答は一点。

C　海外逃亡すら選択肢に上がるほどのジャイアンディナーショーの破壊力。最終的にスネ夫は「げんこつのほうがまし」とやけくそになってでもディナーショーの参加を頑として拒んだ。旅行という回答は一点。

①　『グラフはうそつかない』からの出題。数字に直すと、のび太：しずか：ジャイアン：スネ夫＝2：12：4：7。この数字はどのような基準でつけられたものなのだろうか。グラフに納得がいかなかったのび太は自分のグラフに書き足したが、書き足

した分頭がよくなるまでグラフに無理やり勉強させられる羽目になった。ちなみに「力もち」のグラフは、のび太：しずか：ジャイアン：スネ夫＝3：6：10：7 である。のび太が弱いとみるか、しずかが強いとみるか…。

② (1)　スネ夫のママが登場しているてんコミの表紙は 42 巻。のび太のママと一緒に、ペーパークラフトの深海潜水艦を見つめている。

(2)　大長編のスネ夫と言えば「ママ～！」と叫んでいるイメージだったが、意外とそのシーンは多くなかった。『ねじ巻き都市冒険記』を「絵柄が F 先生のものではないから」という理由で答えた猛者はいるだろうか…。問題文ではスネ夫の弱気な部分のみの記述に終わってしまったが、『宇宙小戦争』など、得意のメカニックスキル等を駆使して活躍するシーンもあることをここで付け加えておきたい。